

三宝通信

『三宝とは』

No.1

1982.11.

三宝とは、^{ブツ}仏・^{ポウ}法・^{ソウ}僧の三つの宝を意味し、仏教徒になる最初で最大の帰依の対象であります。

「^{ブツ}仏」は梵語で Buddha(ブツダ)さとりを開いた人のことで、「^{ポウ}法」は梵語で Dharma(ダルマ)その教えの内容を、そして「^{ソウ}僧」は梵語で Saṅgha(サンガ)その教えを奉ずる僧侶信者達を示しています。

この仏法僧の三つが整って始めて仏教が成立するので、南方仏教でも北方仏教でも日本の各宗派でも共通して唱えられるのが「^{サンキエ}三帰依」の文です。

Buddhaṃ saraṇaṃ gacchāmi

^{ブツダン}

^{サラナン}

^{ガッチャーミ}

^キ ^エ ^{ブツ}
帰 依 仏

(仏に帰依したてまつる)

Dhammaṃ saraṇaṃ gacchāmi

^{ダンマン}

^{サラナン}

^{ガッチャーミ}

^キ ^エ ^{ポウ}
帰 依 法

(法に帰依したてまつる)

Saṅghaṃ saraṇaṃ gacchāmi

^{サンガン}

^{サラナン}

^{ガッチャーミ}

^キ ^エ ^{ソウ}
帰 依 僧

(僧に帰依したてまつる)